

# 令和4年度 北見カトリック学園 遠軽ひばり幼稚園 学校評価

## 1. 教育目標

- 愛する子ども(ありがとう・ごめんね・いいよ)  
私たちは誰もが神さまにつぐられ、愛されていると感じ、いつも見守ってくださる神さまを信じ、祈り、どんな人をも分け隔てなく愛することができる子どもを育てる。
- 正しい子ども  
間違っていることを正せる強い心と身体、そして行動力を持つ子どもを育てる。
- 考える子ども  
様々な経験を通し、興味関心を持ち、思慮深く考え、自分で学究することのできる、個性・創造性豊かな子どもを育てる。

## 2. 教育目標達成に向けての重点

- ・イエス・キリストの愛の精神を伝え、共に生きる子どもへと導く。
- 日常生活を通し、自然や環境の中で、神さまの恵みに気づき、祈ることのできる環境を整える。
- 子ども達一人ひとりが主体的に取り組み、創造的・意欲的に伸び伸びと活動できる保育環境を整える。
- 異年齢クラス編成の中で、互いに認め合い、尊敬し、いたわり、協調しあう意識を養っていきける環境を整える。
- ありがとう、ごめんね、いいよ等の思いを自然に伝えることができる環境を整える。

## 3. 評価項目の達成状況

| 評価項目            | 結果 | 理由  |
|-----------------|----|---|
| 教育内容・環境の充実と計画性  | 3  | クラスの人数が少ない状態であっても、支援を必要とする園児が多いため、棚の教材の種類を増やし、個人の活動が十分に行えるよう心掛け職員間の研修が不十分だったため、来年度の課題とする。           |
| 保育の充実と園児との関わり   | 4  | 園児一人ひとりを大切にすると同時に保護者への配慮を丁寧にする心を心掛けた。大きなトラブルや、ケガ・事故もなく過ごすことができた。ケース会議には准職・補助職員も参加し全員で情報を共有することができた。 |
| 安全管理            | 4  | 避難訓練や煙体験を通して、災害への意識を高めることができた。地震や不審者対策についても、経験していけるよう今後の課題にする。園舎内外の遊具の使い方について、子ども達と確認し怪我のないよう努めた。   |
| 地域の幼児教育機関としての役割 | 3  | 今年度も未就園児教室の充実に取り組んだ。勤労感謝訪問を通して地に根ざす幼稚園であるよう努力した。今後の状況に合わせて、老人施設訪問や、他園との交流の機会を増やしていきたい。              |
| 教員の資質・能力向上      | 4  | リモートの研修が増えたが、実際に目で見たり身体を動かすことのできる実践型の研修に参加することが難しかった。職員同士では日常の教材から研修し、実践に繋げることができた。                 |
| 保護者との連携         | 4  | 子どもの育ちについて不安のある保護者には、園長と話す機会を作り共に子供の成長を見守ることができた。こまめにご家庭に連絡を入れることで安心して預けて頂けたと思う。                    |

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

## 4. 令和4年度の総評

| 結果  | 理由   |
|-----|--|
| 3.7 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体数は少ないがオムツ使用のお子さんが多かったり、発語が十分でないお子さんがいたり大人の手が必要になる場面が多かった。限られた職員数であっても、協力し合い助け合ったおかげで大きな事故やケガをすることなく一年を過ごすことができた。</li> <li>・常に「働き方を平等に」と思っていたが、経験のある職員に若い先生を任せてしまうようなことが多くなり反省が残る場面が多かった。</li> <li>・支援の対象でないお子さんのでも実際には配慮が必要で、補助職員が数名をかかえるような状況だったため、クラスに3人も大人が入ることもあった。補助職員ともよく話し合い、若い担任を任せたままにならないよう職員が配慮するようにしたが十分ではなかった。</li> <li>・少しずつ地域の方との交流が持てるようになっていたり、保護者参加の行事が増えたことで、幼稚園全体が明るく活気が戻ってきたようだった。</li> </ul> |

## 5. 来年度に向けての課題

- ・若い先生が増え、経験のある先生が2学期から2名産休に入り、新園舎に建て替え、幼保連携型に移行する準備など不安は多いが、毎日の保育を充実したものにするところから頑張っていく。多くを望まず、与えられた仕事を丁寧にやり遂げることを第一に考え、年度の終わりには全員が揃うことができるよう、心と身体を大切にしていく。